

質・実用性ともにパワーアップしてとても重宝しています

筑波大学人文社会科学研究所
教授 平井明代 様



GlobalvoiceEnglish3

今回、バージョンアップした GlobalvoiceEnglish 3 Professional イギリス英語付 (GVE3) が発売されたということで、わくわくして使わせていただきました。GlobalvoiceEnglish Professional (従来版 GVE) から格段に良くなっており、感激しました。

従来版 GVE の出会いは、テキストを聞いて (又は読んで) 再話するスピーキングテスト (Story Retelling Speaking Test; e.g., Hirai & Koizumi, 2009) 開発のために、ターゲットになる文法・語法項目を入れたテキストの音声化を、毎回ネイティブ・スピーカーに吹き込み依頼することに不便を感じていたときです。質の高い text-to-speech (TTS) 合成音声プログラムの情報を聞きつけ、まず、どの程度テスト用音声として使用できるか、次の観点から検証しました (Hirai & O'ki, 2011) :

(1) ネイティブ吹き込みによる自然音声と合成音声では聞き取りに差はないか。(2) 学習者は、自然音声スピーチと同じぐらいナチュラルに感じるか。そして、(3) 習熟度によって、その感じ方や好みは異なるか。

その結果、(1) あらかじめ例題などで合成音声スピーチに耳慣れしておく、と、ハンディなく聴解テストに使えることがわかりました。(2) 合成音声と明かさずに、「韻律 (イントネーションやリズム)」「分節 (発音の明瞭さ)」「聞き取りやすさ」に関する評価では、2つの音声間に大差はなく、中でも、熟達度の高い上位群が、ナチュラルさに関わる「韻律」「分節」の点で5段階中4以上という高い評価を付けていました。但し、(3) 上位群の71%が聞き慣れた自然音声の方を好み、合成音声の方を好んだのは8%、どちらも同じと回答したものが21%でした。それに対し、下位群ではそれらの比率が55%、25%、20%と、分節がより明瞭な合成音声を好む割合が高くなりました。

このように、自然音声に迫る従来版 GVE ですが、GVE3 では、さらに音声の読上げの品質が向上し、便利な機能が追加されました。その一つに、速度やポーズの調整、読みの発音修正が簡便になったことです。以前だと不自然な読み方もうまく調整できないこともあったのですが、GVE3 では発音記号を入れて、求める発音をさせられます。そして、単語や句を強調したければ、その部分のピッチを上げたり、ゆっくり読ませたり、その句の後にポーズを入れたり、調整が自由自在です。二点目は、部分的に調整を加えたスピーチは全体速度がわからなくなりますが、今回の GVE3 では読み上げ再生時間、単語数、wpm を表示してくれることです。これで、比較実験に使う同じレベルのスピーチを正確に作成できるようになりました。三点目は、英語話者が2人から4人に、日本語話者も1人から3人に増え、より多様な対話設定が可能になったことです。女性では中堅層のしっかりしたイメージの声の Kate だけでしたが、今回登場したのが、

若い女性の声の Julie、もう一人は待望のイギリス英語を話す Bridget です。同じテキストで英米の発音の違いを比較するのも面白いです。これ以外に、ウェブ上の記事をそのまま聞かせるだけでなく、コピーして文書モードで聞かせると、読み上げ時にハイライトやフェードアウト提示などで、変化をつけて何度もパラレルリーディングさせることができます。このように、テストや教材の開発、実験、そしてオンラインによる授業の音声提示と活用範囲が広がっています。

[2013.06.07]

文献：

Hirai, A., & Koizumi, R. (2009). Development of a practical speaking test with a positive impact on learning using a story retelling technique. *Language Assessment Quarterly*, 6, 151-167.

Hirai, A., & O'ki, T. (2011). Comprehensibility and naturalness of text-to-speech synthetic materials for EFL listeners. *JACET Journal* 53, 1-17.



筑波大学人文社会科学部 現代語・現代文化専攻

<http://www.modernlc.tsukuba.ac.jp/>



筑波大学人文社会科学部 現代語・現代文化専攻 平井明代ホームページ

<http://www.u.tsukuba.ac.jp/~hirai.akiyo.ft/>